



2021年 秋号 - 大阪

プレス 会報

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

目 次

◆大阪府連携懇談会	1
◆前期技能検定報告	3
◆ 同上 合格者の受験番号	6
◆第1回事業推進協議会 報告	7
◆協議会、委員会、青年部会 報告	8
◆主催セミナーのご案内 「今からはじめる」SDG s	10

<その他同封資料 (正会員様のみ)>

◇ 日金協主催セミナー「はじめてのプレス金型」

△ サイバーリスク、情報漏洩保険のご紹介

(輝総合保険事務所 賛助会員)

☆ 仕事管理システム(現場の見える化)のご紹介

(ムラテック販売(株) 賛助会員)

工業会からのご連絡

○令和3年 忘年会は12月9日(木) シェラトン都ホテル大阪にて開催予定です。

○令和4年 賀詞交歓会は2022年1月24日(月) ヴィアーレ大阪にて開催予定です。

(詳細や参加申し込みなどご案内は、後日配信の予定です)

○SDG s セミナーに是非ご参加下さい。



大阪府と連携懇談会（大阪府へ陳情）

日 時：令和3年9月3日（金）午後1時30分～2時15分

場 所：大阪府庁本館2階 議員応接室

大阪府側：小林宏行様（大阪府商工労働部長）、武矢幸信様（大阪府商工労働部 中小企業支援室長）、
平 真一郎様（大阪府商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課 総括主査）

ご仲介役：前田洋輔様（大阪府議会議員 大阪維新の会 政務調査会長代理）

参加者：多田 修（大阪金属プレス工業会 代表理事）、林 秀昭（同 業務執行理事）、
関 健一（同 総務・経営 副委員長）、佐々木徹也（同 総務・経営 副委員長）、
平 光章（同 理事）、中西順也（同 事務局長） 工業会6名

取材報道：大川 藍（日刊工業新聞社 大阪支社 編集局経済部記者）

目 的：我々中小企業の金属プレス製造業は近年のコロナ禍で経営環境はより厳しさを増し、労働力不足、人材育成、技術継承、後継者問題等様々な問題に直面しています。更にSDGsやデジタル化などの新しい課題に対しても積極的に取り組んでいかねばなりません。生き残りを賭ける中小企業に対して大阪府のご支援をお願いしたく、今回陳情に上がりました。

陳情項目：1. 技能検定事業に対するご支援

重要事業と位置付けているが現状は赤字の事業であるため補助金等のご支援を

2. 「SDGs」と「DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に対するご支援
会員企業に取り組みを推進するためにも補助金の創設等のご支援を

3. 中小製造下請け事業者が使いやすい補助金及び助成金についてのお願い

「ものづくり補助金」や「事業再構築補助金」は採択のハードルが高く使いにくい、
中小製造下請けに対し設備導入や構造転換など大阪府独自の補助金や助成金をお願い

4. 工業会財務の健全化と会員増強に対するご理解とご支援

大阪府独自の補助金制度の申請受付業務を弊会に委託して頂き、申請業務を通じて
多くの事業者へ弊会の事業活動をアピールし、事務手数料という新たな収入を得る

5. 事業継承人材と技術人材の育成と確保に対するお願い

大阪府の訓練校や技術専門校に「金属プレス」や「金型」に関するコースを設けて、
修了生を優先的に採用できる仕組みを作って頂きたい

6. イベントやセミナーへの協賛についてのお願い

大阪府の協賛を得ているということで各所から協力を得られ集客にも結び付けたい

7. 「産・官・学」連携についてのご指導及びご支援

アドバイスや取り次ぎ等のご協力をお願いしたい

8. 弊会のパブリシティ活用（PR活動）及びブランディング化に対するご支援

活動を世に知って頂きブランド価値を向上し会員の増強につなげたい

9. 大阪府との連携懇談会の継続的な開催のお願い

まず、はじめに当工業会の多田修代表理事の挨拶、続いて大阪府の小林宏行部長にご挨拶を頂き、限られた時間のため、早速今回の陳情項目、上記1～8について、多田代表理事から説明をして頂きました。これら陳情項目について、大阪府の見解、ご意見、討論の主な内容など下記に記します。

（順不同の部分もございます）

<補助金・助成金について>

・大阪府独自の補助金・助成金はきびしいが、個別の取り組みについてはお金以外の事、例えば関係機関と繋ぐことやMOBIOで事業についての相談を受けることは出来る。

・大阪府は昔から財政は豊かではない。橋下知事で降補助金をまくことはせず保全事業や環境整備に使っている。お金のかからない後援や協賛などは可能です。

（工業会から）

・国の補助金は採択が難しい。コンサルに委託して補助金を頂いたが、コンサル料に15～20%取られる。大阪府からも申請の支援して頂いてハードルを下げて頂きたい。

<技能検定について>

- 技能検定は国と大阪府から補助金が出ているはずだが、赤字の要因は何でしょうか、技能検定事業は商工労働部内ではあるが別部署なので情報を共有しておきます。

<DX（デジタルトランスフォーメーション）について>

- DX は大阪産業局でも力を入れており今年は事業を興しています。「大阪 DX 推進プロジェクト」課題は取り組む企業がどこまで本気なのか、気持ちが先走っているところがあるが、相談に乗って取り組んでいるところです。

（工業会から）

- 大阪産業創造館などで DX セミナーを何度か受講したが、講師の話は的を射ていない。大企業出身の方が眠たい声で話をされて退屈であった。

<人材について>

- 人材の確保は重要課題と理解しています。大阪府立の技専校（高等職業技術専門校）では入学希望者が少ないが卒業者は100%就職しています。ただしものづくり分野は人気がなく、デジタルデザイナーのような分野に人気が集中する。どうすればものづくりに目を向けて頂けるか広報にも力を入れている。例えば企業の方に来て頂いて学生にもものづくりの説明をする機会を作るなど、企業と連携して進めていければよいと思っているので課題としたい。

（工業会から）

- 金型をつくる産業が置き去りにされている。機械加工や溶接のコースはあるが金型を学ぶ機会を作って頂きたい。
- 中小企業では若い人材の採用に苦慮している。せっかく入社頂いても現場経験は出来るが知識・技術教育的なことは、むしろ技専校へ送って教育して頂きたいが、しかしプレス機械は大阪府の工業高校や技専校などにどこにも置いてないのが現状です。

意見交換など貴重なお話は尽きませんが、お忙しい中の限られた約45分間の懇談会を終了致しました。貴重なお時間を頂いて有難うございました。当工業会の抱えている課題などをご理解いただき大変有意義な意見交換、懇談会が出来ました。今後も継続して大阪府との懇談を続けて連携を取りながら事業の推進を進めたい所存です。

最後になりますが、今回のこのような貴重な懇談会は、平光章理事のご紹介により大阪府議会議員の前田洋輔先生にご仲介とご尽力を頂きました。有難うございました、感謝申し上げます。



（懇談の様子 多田代表理事のご挨拶）



会員の皆様には、大阪府に対してのご意見、ご要望、感想などございましたら事務局へご連絡下さい。

大阪府以外の事でも構いません。よろしくお願い致します。

令和3年度 前期技能検定 「金属プレス加工」 報告

一般社団法人大阪金属プレス工業会では、職業能力開発促進法に基づく国家検定制度である「金属プレス加工」と「金型製作」の2職種について、大阪府職業能力開発協会から委嘱を受けて実技試験を実施するとともに、合格に向けての練習会等を実施することで技能士合格の支援を続けています。

昨年（令和2年度）は新型コロナウイルス感染症の為に技能検定が全国的に中止となりましたが、令和3年度は緊急事態宣言は発出されておりましたが2年ぶりに「金属プレス加工」職種の实技試験を実施致しました。（なお、例年開催しておりました学科試験の準備講習会は中止とさせて頂きました。）

「金属プレス加工」1級、2級の実技練習会及び実技試験の様子と先日合格発表が行われましたので結果をご報告いたします。

＜実技試験会場の設営＞

実技試験の会場は、近鉄けいはんな線荒本駅近くの東大阪高等職業技術専門校の実習場をお借りして実施しています。8月23日（月）会場の設営を致しました。プレス機は検定用にアマダプレスシステム様から6台お借りし、作業台、金型、工具等を設置し、暑さ対策としてスポットクーラー、感染症対策としてアルコール洗浄液などを準備致しました。



会場の実習室（設営前）



プレス機械の搬入、設置



<実技試験の準備練習会>

日 時：8月24日（火）、25日（水）

会 場：大阪府立東大阪高等職業技術専門学校

参加者：1級9名、2級14名（合計23名）

実技試験（製作等作業試験）の実施に先立ち準備練習会を開催致しました。

実技試験と同じ会場、同じプレス機械を使って本番と同じように課題を製作して練習します。

慣れないプレス機を使用する為、操作説明には時間を費やし、各自練習して頂きました。

会場や日数に制限があるため、受検者の全て方にご参加頂くことが出来ず、当会の会員会社の受検者限定の事業とさせて頂きました。



<実技試験（製作等作業試験）>

日 時：8月26日（木）～31日（火）

会 場：大阪府立東大阪高等職業技術専門学校

受検者：1級19名、2級38名（合計57名）

プレス機械はアマダ様から6台をお借りして、5日間にわたって実技試験を実施いたしました。例年この時期は猛暑で、空調設備がない会場の為受検者、関係者共に汗だく状態になります。

実技試験には多くの方のご協力が必要です。技能検定委員（延べ20名）、補佐員（延べ30名）派遣して頂いた企業様、検定委員の方、補佐員の方有難うございました。大変お疲れ様でした。



朝一番、検定委員と補佐員の打ち合わせ



受検者へ開始前の説明（女性の受検者もいます）



受検者へ開始前のプレス機の操作説明



実技試験中の風景



試験時間や課題の表示（課題は直前に抽選で決定）



提出された製品の採点風景



検定委員が協議して採点をしています

<合格発表>

10月1日（金）合格発表があり、金属プレス加工技能士は1級が10名、2級が10名 誕生しました。学科・実技のいずれか一方のみ合格された方も発表されています。学科試験には合格され、実技試験が不合格の方が多数おられますがその逆はゼロです。毎年、実技試験が難関となっております。

1, 2級共に一昨年（昨年は中止）よりは合格率が上がりましたが、まだまだ合格率は低く、特に2級の合格率が全国平均よりもかなり低いと思われます。会員企業様におかれましては、技能検定に向けた準備・自主練習を十分にさせて頂いて、次年度もご参加頂きますようお願い致します。

（合格者の受験番号は次ページに掲載）

<下表は当工業会が担当しました実技試験のみの合否結果です。（技能士合格者数とは一致しません。）>

	会 員			非 会 員			合 計		
	受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率
1 級	5	1	20.0%	14	8	57.1%	19	9	47.4%
2 級	13	4	30.8%	25	6	24.0%	38	10	26.3%
合計	18	5	27.8%	39	14	35.9%	57	19	33.3%

令和3年度 前期技能検定「金属プレス加工」合格者（受験番号）

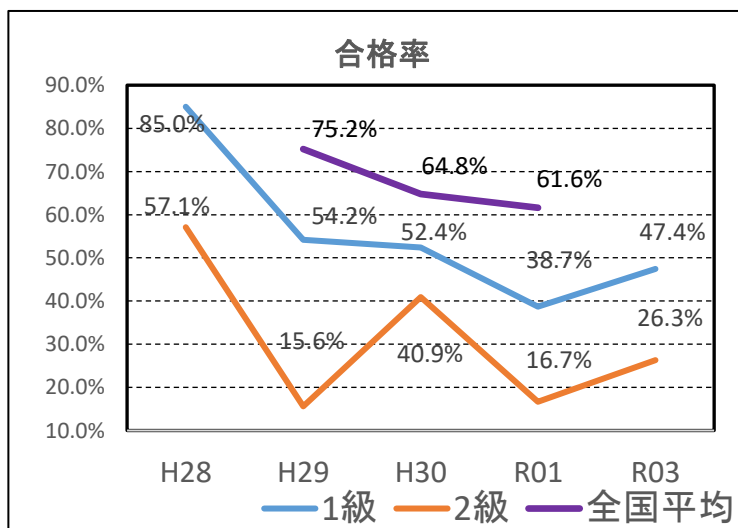
大阪府職業能力開発協(10/1発表)

等級	受験区分	技能士合格者				一部合格					
						学科合格者			実技合格者		
1級	A	01	04	07	08	05	06	12			
		10	11			13					
	AZ					01	03	05			
	B	01									
C	04	05	06								
2級	A	02	10	14	18	01	03	06			
		22				07	09	15			
						17	19	20			
	AZ					01	04	05			
						08	10	11			
						14	17	22			
						24					
	B										
C	03	06	07	09							
	14										

※赤字は会員

	記号	学科	実技	技能士	
				学科	実技
受験区分	A	受検	受検	合格	合格
	AZ	受検	(未受検)		
	A丙	(未受検)	受検		
	B	受検	免除	合格	
	C	免除	受検		合格

	H28	H29	H30	R01	R03
1級	85.0%	54.2%	52.4%	38.7%	47.4%
2級	57.1%	15.6%	40.9%	16.7%	26.3%
全体	64.5%	26.1%	43.7%	24.7%	33.3%
全国平均		75.2%	64.8%	61.6%	



第1回 事業推進協議会 報告

去る5月24日 第9回社員総会及び第21回理事会にて役員改選が行われ、新任の多田代表理事のもとで、当工業会は新たな事業年度を開始しております。(多田代表理事のご挨拶や役員名簿は前号のプレス会報誌に掲載しております。)

事業運営組織も改定されており、理事会と各委員会の中に『事業推進協議会』が新設されました。この協議会は各委員会での決定事項を検討・承認、又は協議会での決定事項を各委員会に実施の指示や助言を行う目的で新設されました。そしてその第1回事業推進協議会が7月20日(火)に開催されました。多田代表理事からは2021年度の事業運営方針が提示され、2つの委員会と青年部会が一体となり協力しながら運営できる体制を構築すること、そして新たな取り組みとして「SDGs」「カーボンニュートラル」「DX(デジタルトランスフォーメーション)」の導入を支援して会員企業のブランド価値の向上を図ることが示され、会員に対する具体的提案等を検討すべく、「SDGs」は総務・経営委員会で、「DX」は安全・技術委員会にて検討をして取り組むようにと指示されました。

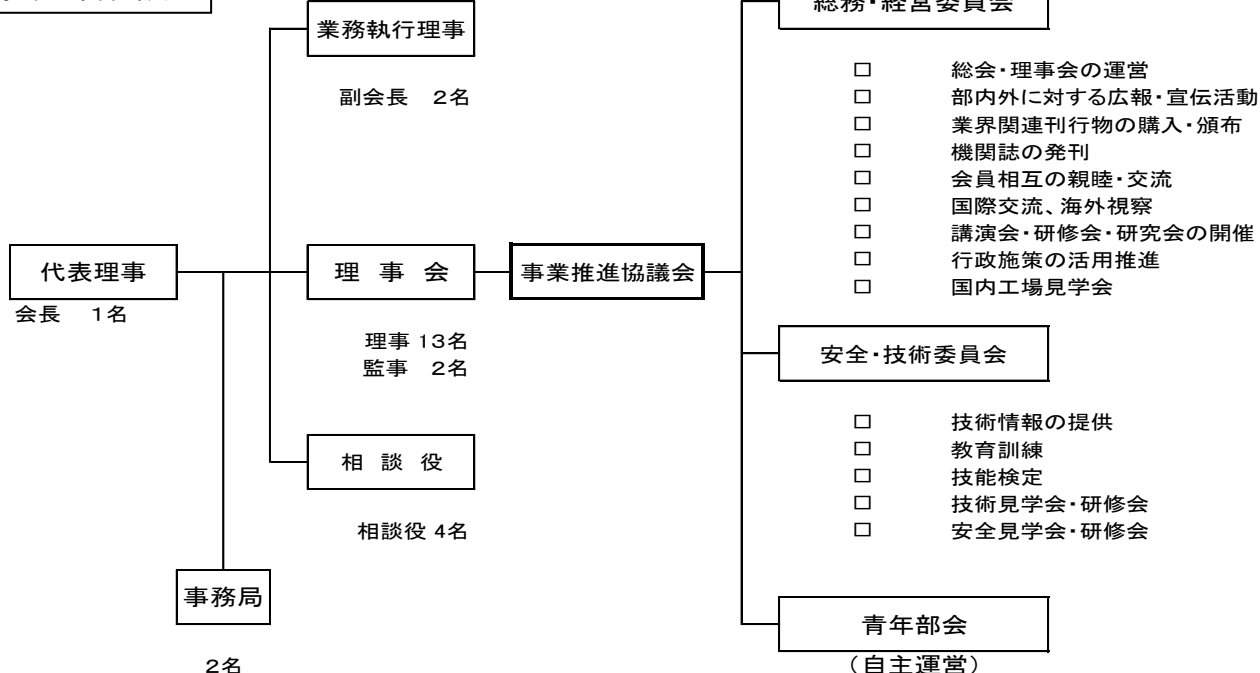
(※第1回事業推進協議会の議事録は、当会 HP の事業報告のページに掲載しております)

事業運営方針

1. 「事業推進協議会」を通じて2つの委員会と青年部会の3会が一体となり、従来からの事業に加え、次世代を見据えた新しい事業を積極的に展開する。 →自主運営の青年部会と2つの委員会が協力しながら運営できる体制を構築したい。
2. 会員の皆様を守り育てる、会員の皆様と一緒に未来につなぐ、という「会員パートナー宣言」に則り、「SDGs」や「カーボンニュートラル」に対する取り組みや、「DX(デジタルトランスフォーメーション)」などの導入を支援し、会員企業のブランド価値の向上を図る。 →次世代に繋がる新しい事業に取り組み、工業会全体のブランド価値を高めたい。
3. 会員の増強と組織の充実 及び 財政基盤を確立すべく正会員(社員)の範囲を拡げ、金属プレスに関わる幅広い業種から会員を募集する。 →今や金属プレス加工だけに固執する時代ではない。いかなる組織も「変化」していく者だけが生き残り、成長する。幅広く会員を募り組織を拡充すると共に関係機関や公共団体との連携を密にし、新しい事業を強力に推進したい。

2021/7/20 代表理事 多田修

事業運営組織図



協議会、委員会、青年部会 報告

委員会、開催日時、場所	内 容	参加者	写 真
<p>第1回 事業推進協議会</p> <p>7月20日 17時55分</p> <p>たかつガーデンにて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営方針の説明 ・青年部会との協力体制 ・「SDGs」「カーボンニュートラル」「DX(デジタルトランスフォーメーション)」の取り組みについてなど 	11名	
<p>青年部会 7月例会</p> <p>7月27日 17時50分</p> <p>工業会事務局にて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの近況報告 ・今後の事業の予定 3会合同事業の予定など 	3名	
<p>第1回 安全・技術委員会</p> <p>9月29日 17時00分</p> <p>リモート開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新メンバーの紹介 ・DX への取り組みについて ・ムラテック販売(株)から DX のレクチャー 	13名	

※内容の詳細は当会HPの事業報告ページに記載の議事録をご覧ください。

大阪金属プレス工業会 会員の皆さまへ！

●主催セミナーのご案内●

金属プレス加工業の中小企業へ向けた

「今からはじめる」SDGs

～事業の成長を見据えた設備投資と人材確保～



- ・SDGs よく聞くけど中小企業は何から始めるの？
- ・仕事先からCO2を減らせと言われるけど・・・
- ・外国人を雇っているけど人権問題って？
- ・職場環境の改善も求められるの？

そんな疑問にわかりやすくお応えします！



2021.11.9 (火) 16:00～17:30 **参加費無料**

※定員になり次第受付を締め切ります

40名 先着順

たかつガーデン B1 オリーブにて

プログラム

- ・10分で押さえる!SDGs ～今起きている大きな変化～
- ・カーボンニュートラルへの動きが事業に及ぼす影響と対策
- ・人権をめぐる世界の動きと事業への影響～雇用の観点から～

りそなホールディングス株式会社

グループ戦略部 SDGs推進室長 **吉本 圭吾 氏**

りそなホールディングス株式会社

グループ戦略部 SDGs推進室長

吉本 圭吾 氏

- 1998年 旧大和銀行に入社。大阪の営業店で融資・渉外を担当
- 2006年 東京本社へ転勤。財務部にて情報開示に関わるプロジェクトを担当
- 2018年 気候変動対応に関する情報開示、SDGs対応の業務を兼職
- 2021年 4月より現職

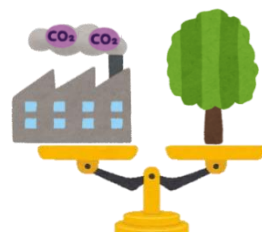


SDGsは、2030年までに持続可能でより良い世界を実現するため、環境・経済・社会が抱える課題に関する17の目標と、働きかけるべき169のターゲットで構成される世界共通の目標です。

【カーボンニュートラルとは？】

カーボンニュートラルは、二酸化炭素の排出を全体で見るときにゼロにするという意味です。二酸化炭素の排出量を極力低減したうえで、森林などの吸収量を差し引いてゼロにします。カーボンニュートラルの実現には再エネの普及、革新的な電池技術、産学官の連携強化、雇用の維持・業界支援等数々のイノベーションや政策の総動員が必要です。

CO2排出量 CO2吸収量



お申込方法

FAX 送付先：06-6762-7633

e-mail: omsa1@omsa.or.jp

以下に必要項目をご記入の上、FAX 又は メールにて送信ください。★締切：10/26(火)

お会社名	
連絡先	(ご参加者の 携帯電話 又は メールなど)

ご参加者 氏名	お役職

会場のご案内

たかつガーデン (大阪府教育会館)

〒543-0021

大阪市天王寺区東高津町7-11

- ①近鉄線／大阪上本町駅(地上ホーム)より徒歩約3分
- ②近鉄線／大阪上本町駅(地下ホーム)(近鉄①番出口)より徒歩約3分
- 地下鉄谷町線・千日前線／谷町九丁目駅(近鉄①番出口)より徒歩約7分



お問合せ

大阪金属プレス工業会 事務局 担当：中西

TEL：06-6762-8629

e-mail: omsa1@omsa.or.jp

会員の皆様を「守り育てる」 会員の皆様と一緒に「未来につなぐ」

(一社)大阪金属プレス工業会50周年 会員パートナー宣言

我が工業会ならではの情報発信力とネットワーク環境を活かしながら

会員各社の社員様の育成のお手伝いをし

各社の業績の向上を支援します。

そしてこれらの果実を享受した会員自身が

次に工業会の情報収集力とネットワークをさらに強めていきます。

会員総てが工業会のパートナーとしての自覚を持っているからです。

ますます厳しさを増すグローバル競争の中

50周年を機に、ここ関西・大阪の地で活躍する会員の皆様が発展され

それが大阪のプレス業界を活性化して

将来世代に夢と希望を繋ぐことを目指します。

2016年5月26日

一般社団法人 大阪金属プレス工業会 理事一同